

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和4年 12月 20日

事業所名こぱんはうすさくら厚木恩名教室

保護者等数(児童数)27 回収数 24 割合 88.9 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	24件	2件	件	件	とても過ごしやすい環境 だと思う。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	22件	2件	件	件	目が行き届いている感じが して、安心して利用できる。	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	19件	5件	件	件		教室の環境を分かりやすく 説明するようにする。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	23件	1件	件	件		
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	24件	件	件	件		今後もお子様の成長に合わせ て対応していきたい。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5件	12件	6件	件	最近交流があるのか、 私に分らなかった。	機会を模索します。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	23件	1件	件	件		引き続き分かりやすい説明 を心掛ける。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	23件	1件	件	件		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	23件	1件	件	件		心配事を相談しやすいように 環境を整える。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10件	13件	1件	件		社会情勢を見つ、開催出 るか検討する。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	21件	3件	件	件		安心して利用出来るよう配慮 する。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23件	1件	件	件	療育内で子供の思いを職員 に伝えた時のことを、伝えてく るのでとても助かる。	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	23件	1件	件	件	活動内容が、伝わるので お便りなどが嬉しい。	
14 個人情報に十分注意しているか	23件	1件	件	件			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	22件	2件	件	件		保護者への周知の徹底を図 る。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18件	6件	件	件	定期的な訓練をしてしてく れているので、やり方や ブザー音を理解できる。	
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	21件	3件	件	件		
	18 事業所の支援に満足しているか	22件	2件	件	件	お買い物ごっこは、お金のやり 取りをお店では恥ずかしがるの ですごく助かります。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年 12月 20日

事業所名 こばんはうすさくら厚木恩名教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	✓		部屋を区切って分けてある。	
	2	職員の配置数は適切である	✓			無理ない人数の受け入れを心掛け、余裕のある配置が出来るようにする。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	✓			利用者の成長に合わせて問題点がないか話し合う。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		✓		時間を作って機会を設ける様にしていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	✓			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	✓			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			✓	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	✓		市が開催している研修などに参加している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	✓		職員間で情報共有して話し合う機会を設けている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	✓			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	✓		複数の職員で考えている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	✓		成長に合わせたプログラムを考えている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	✓		夏休みにお買い物weekを設けた。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	✓		お子様に合わせて計画を立てている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	✓		主に朝礼時に確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		✓		帰りの道路状況によって全員が集まれば無理だが、フロアリーダーだけでもその日にあった出来事を振り返りを出来るようにしたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	✓		なるべく詳しく日報を書いている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	✓			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	✓		内容が偏らないように心掛けている。		
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	✓		児発管が参画している。		

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	✓			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		✓	該当児童が居ない。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		✓		機会があれば共有していきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		✓	該当児童が居ない。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	✓		電話などで密に連絡を取っている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		✓		機会を模索します。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		✓		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	✓		送迎時以外にも電話での面談を行っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	✓			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	✓		丁寧にお話しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	✓		不安がないかこちらから声掛けしています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	✓			
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	✓			引き続き適切な対応を心掛けます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	✓			新聞記事の内容を口頭で詳しく説明するなどしています。
	35	個人情報に十分注意している	✓			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	✓		適切なコミュニケーションツールで対応しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		✓		他のお教室の情報を参考にしてみます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	✓			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		✓		適切な対応が出来るようまずは話し合いの場を設けます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	✓			10月に実施
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		✓		該当児童がいません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		✓		該当児童がいません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	✓			記入事例を増やすようにして、安全な運営に努めます。